

2020 マーチング・イン・オカヤマの感染防止策について

○参加団体関係者【全入館者】が以下の事項に該当する場合は入館を見合わせてください。

1. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
2. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
3. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

○全入館者の大会当日における厳守事項について

1. 全入館者は演奏・演技時以外は館内においてマスクを着用する事が必須となります。(受付時や着替え時等の際や会話をする際に他人とソーシャルディスタンスが確保できていない場合にはマスクを必ず着用すること。館外で他人とのソーシャルディスタンスが確保出来る場合はこの限りではない。熱中症予防には注意し、水分補給を実施してください。)
2. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
3. 客席に立ち入る全ての方は（出演者及び送迎者を含む全関係者等）2階受付に設置のサーモグラフィ検温器の前を通り、体温チェックをお願い致します。
4. 他の参加者、主催者スタッフ・送迎者等との距離(できるだけ 1~2m 以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合や同団体のメンバー同士を除く)
5. イベント中に必要以外の大きな声で会話や応援等をしないこと
6. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
7. 大会前後 2 週間における以下事項の有無を各団体の責任において確認してください。
 - ・平熱を超える発熱(おおむね 37 度 5 分以上)
 - ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ・嗅覚や味覚の異常
 - ・体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
8. イベント終了後 2 週間以内に団体関係者（送迎者等の保護者を含む）が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
9. 当日に気分が悪くなった場合は救護室をご利用ください。また、急に発熱等の体調不良が発生した場合はすぐに救護室へ行かず、事前に本部へ連絡し、指示を仰いでください。
10. 当日の入館者数及び氏名等に変更が出た場合は、担当者が本部へ速やかにご連絡ください。変更の名簿提出（体温チェックと共に）をお願い致します。

当日の主催者側の感染症予防対応について

1. 受付窓口及びお手洗い等には、手指用アルコール消毒剤を設置します。
2. 同様に各参加団体の皆様にも適時アルコール消毒をしていただけるように主催者よりアルコール消毒液（500ml）を配布致します。（消毒にご活用ください。）
3. 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場をお断りします。
（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも検討します。）
4. 受付を行うスタッフには、マスク着用を必須と致します。
5. 入館者の皆様は以下の事項を記載した書面の提出をお願い致します。
（入館者氏名、利用当日の体温、所属団体の記載【出演者・引率者・送迎者等の全入館者】）
6. 2階客席に入場時（客席で見学する出演者及び送迎者を含む保護者及び関係者）の検温をサーモグラフィー検温器にて実施します。
（37.5℃以上の場合は別途体温計にて再度測定を行っていただきます。）
7. 2階客席は一方通行を原則と致します。逆走されますと滞留が発生し、密を防止する為に、一方通行に従いご通行ください。また、客席入場時や退場時の密を防止する為、時間に余裕を持ってご入場ください。
8. 出演者の方はサーモグラフィー検温器での検温は密防止とスムーズな入退場の為、実施を致しません。体調がすぐれない場合は団体責任者へ報告し、指示を仰いでください。
9. 今大会は出演者の体調管理はもちろんの事、送迎者や保護者の方も各団体の責任において管理していただく事が求められます。全員の体調管理が必要となります。
入館者の氏名及び当日の体温検温チェックのご提出が無い場合は、入館不可となります。
送迎者を含む保護者の方等に関しては各団体の判断にお任せ致します。
団体関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、該当者の氏名、年齢、連絡先、住所を主催者までご連絡ください。